

日曜	行事	時間	場所	備考
1 水	行政相談	10:00~15:00	清武総合支所5階5B会議室	[問]宮崎行政相談センター☎24-3370
	人権相談	10:00~15:00	清武総合支所5階5B会議室	[問]宮崎地方事務局人権擁護課☎22-5124
	キッズイングリッシュ	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	[問]同左☎84-2380※事前申込要(1歳6ヶ月~7組)
2 木	子ども一時預かりボランティア「リフレッシュきよたけ」【要予約】	10:00~12:00	清武総合福祉センター	[問]市社協清武支所☎55-6207
	おもちゃ広場	10:00~12:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	あみあみクラブ	16:00~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
3 金	清武幼稚園作品展示 15日(水)まで	9:00~18:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	赤ちゃんひろば	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	[問]同左☎84-2380※事前申込要(1歳4ヶ月~7組)
	たのしく遊ぼう	16:00~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811※毎月第1金曜開催、自由参加
4 土	清武町史セミナー 第1回	10:00~11:45	安井息軒記念館	[問]同左☎84-0234※申込要
	おたのしみ教室	13:00~15:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	おもちゃ病院	13:00~16:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811※壊れたおもちゃを前もってお預かりできます
5 日	おもちゃ広場(おもちゃいっぱいの日)	10:00~15:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
6 月				
7 火	ペップスポーツ教室	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	[問]同左☎84-2380※事前申込要(1歳4ヶ月~7組)
8 水	ちくちくクラブ	16:00~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
9 木	おもちゃ広場	10:00~12:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	地域子育て支援センター午後休館			
	あみあみクラブ	16:00~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
10 金	大なわとび	16:00~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811※毎月第2.4金曜開催、目田参加
	わらべうた	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	[問]同左☎84-2380※事前申込要(0歳児 7組)
	音楽教室	9:30~11:30	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
11 土	Kiyotake De English	10:30~12:00	加納地区交流センター	[問]清武町国際交流協会☎69-9196(火・木・金 13時~16時 不在時は留守電にお名前・ご連絡先をお願いします) ※事前申込要 定員:15名(先着順) 参加費:会員300円、会員外500円
	アートな実験室②	13:00~15:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	きよたけはんきゅう軽トラ市	9:00~12:00	清武文化会館前通り	[問]清武町商工会 ☎85-0173
12 日				
13 月				
14 火	避難訓練(通報訓練)	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	[問]同左☎84-2380
15 水				
16 木	子ども一時預かりボランティア「リフレッシュきよたけ」【要予約】	10:00~12:00	清武総合福祉センター	[問]市社協清武支所☎55-6207
	おもちゃ広場	10:00~12:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	あみあみクラブ	16:00~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
17 金	おたのしみ教室	15:30~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
18 土				
19 日	おもちゃ広場(おもちゃいっぱいの日)	10:00~15:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	深海ギョギョギョッ!	13:00~16:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811※事前申込要、小学生親子20組、参加費500円
20 月				
21 火	園開放	10:30~11:30	清武幼稚園	[問]同左☎85-5335
	地域子育て支援センター午後休館			
	ちくちくクラブ	16:00~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
22 水	おもちゃ広場	10:00~12:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	あみあみクラブ	16:00~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
23 木	4園合同作品展示 7/6まで	9:00~18:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	(北今泉保育園、黒坂保育園、清武中央こども園、しんまちこども園)			
	大なわとび	16:00~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811※毎月第1金曜開催、自由参加
24 金	音楽教室	9:30~11:30	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	安井息軒記念館講座 第2回	10:00~11:45	安井息軒記念館	[問]同左☎84-0234※申込要
	アートな実験室③	13:00~15:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
25 土				
26 日				
27 月				
28 火				
29 水	誕生会	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	[問]同左☎84-2380※誕生者のみ事前申込要(他は自由参加)
	おもちゃ広場	10:00~12:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
	あみあみクラブ	16:00~17:00	きよたけ児童文化センター	[問]同左☎85-6811
30 木				

① このマークがついている行事は、裏面(お知らせ)に掲載しています。

>>> 裏面(お知らせ)



# お知らせ



「清武ふるさと農産物加工センター体験会」のご案内 お問合せ・お申込み先 ☎&FAX84-2350

## ★体験会

- ◆内容・日時
  - ①めんつゆ 7月22日(金) 9時～12時
  - ②アイスクリーム 8月26日(金) 9時～12時
- ◆会場 清武ふるさと農産物加工センター
- ◆対象 初めて施設を利用される方
- ◆定員 各8名(定員になり次第締切)
- ◆参加費 ①1,300円 ②1,000円
- ◆持参物 エプロン、三角巾、マスク
- ◆申込期間 6月27日(月)～7月2日(土)

電話、FAXにてお申込みください。

市社会福祉協議会清武支所からのお知らせ  
お問合せ先 ☎55-6207

★子ども見守りボランティア「リフレッシュきよたけ」  
子育て中の方に一息ついて貰うため、経験豊かな保育士やボランティアが、お子さんを預かります。

- ◆期日 毎月第1・第3木曜日
- ◆時間 10時～12時
- ◆会場 清武総合福祉センター
- ◆期日 満1歳から4歳未満の幼児
- ◆利用人数 1回5名まで
- ◆利用料金 無料
- ◆注意点  
事前の予約が必要です。初回手続の際に事前面談が必要ですのでご連絡ください

きよたけ児童文化センターからのお知らせ  
お問合せ先 ☎85-6811

## ★深海ギョギョギョッ！

- 海の底を箱にして、カワイイ深海ギョを飾ろう！
- ◆日時 6月19日(日) 13時～16時
- ◆会場 きよたけ児童文化センター
- ◆定員 小学生親子 20組
- ◆参加費 500円(1組)

## おことわり

新型コロナウイルスの感染状況によっては、掲載している行事等の変更がありますので、各主催者に確認していただきますようお願いいたします。

## 歴史ピック in きよたけ 黒北発電所 その2

計画は、暗礁に乗り上げましたが、その後、電気事業に詳しい才賀藤吉という人がいることがわかり、現地に案内したところ、清武川南岸が良いという指導を受けました。ところが、そのころ政府の府県廃合の議が起こったことや日露戦争が勃発したことなどから、一旦この工事を断念しました。

日露戦争後の明治39年(1906)5月によやく日向水力電気株式会社が設立され、6月に黒北付近で水路工事を起工しました。発電所は明治40年(1907)7月に完成し、8月から営業を行ないました。

現在、黒北発電所は九州電力株式会社の所有で、今も当時の建物とドイツ製水力発電機が使用され、電力を供給しています。平成9年(1997)に国の登録文化財となり、無人で遠方監視制御されています。

※清武町史 通史編 下巻より

安井息軒記念館からのお知らせ  
お問合せ先 ☎84-0234 FAX84-2634  
メール sokken.yasui@pic.bbq.jp

- 1) 清武町史セミナー 第1回  
清武町史の執筆者の一人である松浦祥雄氏によるセミナーです。各回、別のテーマで全3回実施します。  
◆テーマ 「菊池武光の日向遠征」  
◆日時 6月4日(土) 10時～11時45分  
※初回の申し込みで、全3回受講できます。
- 2) 安井息軒記念館講座第2回  
◆テーマ 「幕府の軍艦 外浦へ来る  
～平部嶺南の日誌から～」  
◆日時 6月25日(土) 10時～11時45分  
◆講師 那良 則人 氏(放送大学大学院歴史研究会)  
※各回、申込みが必要です。  
上記の1)・2)については次のとおりです。  
◆会場 安井息軒記念館 研修室  
◆定員 40名(当日まで受付可) ◆受講料 無料  
◆申込方法 電話、FAX、メール、窓口のいずれかでお願います。

お知らせ 本報は宮崎市のホームページにも掲載しています。

## 江戸時代の災害 外所地震

寛文2年(1662)9月19日の夜、12時ごろ日向国に大地震が起こり。その後さらに津波が襲い、大きな被害を受けました。清武郷では、下加江田、本郷、野中田村、東郡司分村などいくつかの村が海中に没したほか、1213軒の家屋が倒壊しました。

被害高の幕府への報告は当初7071石でしたが、その後、5000石と改め、最終的に2500石余となりました。更に、この廃田高に減少が出ないように、他村の村高にたし高を行っており、清武4村(木原村、加納村、今泉村、田野村)で752石をまかなうこととなりました。

災害が起こると、資材や労働力の提供など、その復旧に要する負担は農民に課せられました。この大地震では、村高のたし高が行われており、農民は実質的な加税に苦しむこととなりました。

※清武町史 通史編 上巻より

## 密を避けて外出しましょう！

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多数が集まる密集場所
- ③間近で会話や発声をする密接場面

## 歴史ピック in きよたけ 清武地頭

元和元年(1615)清武城が廃城となったあと、米良重矩が清武地頭となりました。

延宝3年(1674)ごろ清武地頭となった川崎祐盛は清武郷支配の確立に努め、23年間在職しました。藩庁会所(政務を行うところ)組織の改編を行い、藩庁と連携を図りながら清武郷における地頭を頂点とする支配体制の整備しました。さらに、武備、防衛構想の再構築(軍法帳)を行いました。この軍法は、飢肥藩内で有事に際して対処すべき指針となりました。

清武地頭を中心とした清武支配体制は、川崎祐盛によってほぼ確立され、安定期を迎えました。

※清武町史 通史編 上巻より